

人文科学における災害情報の共有化に関する研究会

第10回人間文化研究情報資源共有化研究会

○主催 大学共同利用機関法人人間文化研究機構・研究資源共有化事業委員会

○日時 平成27年3月28日(土)13時20分～17時00分

○会場 京都リサーチパーク (JR嵯峨野線丹波口駅より西へ徒歩5分)

西地区4号館2F ルーム2

○開催趣旨

東日本大地震の経験により、あらゆる学問が人間と自然の向き合い方についての問いを投げかけられている。人文科学においても考えるべき課題は多いが、本研究会では、情報の共有化という観点から、歴史的な災害に関する情報および史料保全のための情報という問題に焦点をあて、学問分野を越えて共有化を進めていくために必要な方法や課題を考える場としたい。

歴史的な災害に関する史料収集の試みはすでに100年に及ぶ歴史をもっているが、その蓄積が諸分野の研究者や社会に共有されてきたとは言いがたい。今年度から歴史学、考古学、地震学、情報学の連携によって開始されている歴史地震資料情報の共有化の取組について、その計画と現状を報告するとともに、将来に向けての課題を考えたい。

他方、阪神淡路大地震以後、地震のたびに各地域での自主的な取組によって、被災文化遺産の救出保全活動が行われてきた。東日本大震災は被災地域が広範囲にわたったため、被災資料についての記録、情報共有化が大きな課題となった。史料救出の現場からの報告とともに、文化遺産を未来に伝えるために必要な課題を考えたい。

○プログラム

13:00 開場

13:20-13:50 趣旨説明・歴史地震資料情報の集約と共有化

榎原 雅治 (人間文化研究機構)

話題提供

13:50-14:20 考古資料から抽出される災害情報とそのデータ化

村田 泰輔 (奈良文化財研究所)

14:20-14:50 歴史地震史料を用いた地理情報システムの構築に向けて

西山 昭仁 (東京大学地震研究所)

休憩 (14:50-15:00)

15:00-15:30 文理融合による災害研究と史料保全

蝦名 裕一 (東北大学災害科学国際研究所)

15:30-16:00 民間所在資料の課題と情報化

西村慎太郎 (人間文化研究機構国文学研究資料

館)

16:00-17:00 総合討論

17:00 閉会

○連絡先 人間文化研究機構 事務局企画課研究支援係

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階

(TEL) 03-6402-9235 (FAX) 03-6402-9240 (Mail) shien@nihu.jp